

オンリーワンの
魅力あふれる地域拠点大学
をめざして…



国立大学法人
信州大学
SHINSHU UNIVERSITY

自然と社会と個人の調和
a Harmony of Nature, Society and Individual.

教育 人が自然に、自然が人に

全学教育機構

—全学の教育力を結集した共通教育の実施—

本学は、5つのキャンパスに分散していますが、1年次(医学部医学科は2年次まで)は全学部生が松本キャンパスに集い、全学教育機構で共通教育科目を履修します。全学教員の専門知識を生かした、いわば大学の総力を結集した科

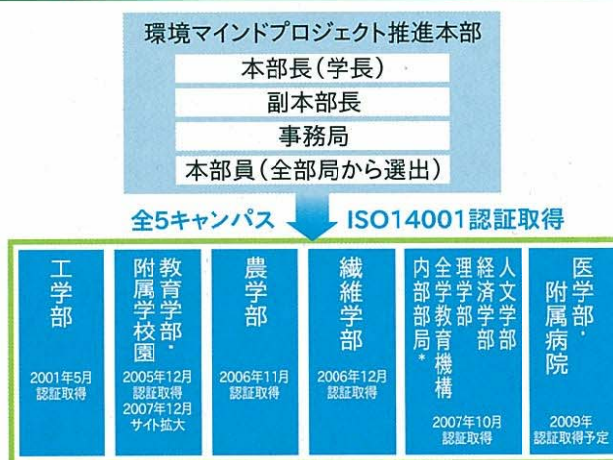
目を学ぶことが可能であり、「幅広い教養と基礎的能力に基づく課題探求能力、豊かな人間性や国際性を持った人材育成」を目指します。

共通教育	教養科目	教養講義
		教養ゼミナール
	基礎科目	外国語科目
		健康科学科目
		情報科目
		新入生ゼミナール科目
		基礎科学科目
日本語・日本事情に係る教育	日本語・日本事情科目	
専門教育	専門入門科目 専門科目	



環境マインドをもつ人材の育成とエコキャンパスの構築

本学では、特色ある教育の一つとして「環境マインドをもつ人材の育成」に力を入れ、環境保全の実践的な知識と意識を育てています。「自然との共生」の理念のもと国際的に貢献できる環境調和型人材を輩出すべく、学生・教職員が一丸となってエコキャンパスづくりや環境活動に取り組んできており、2007年には、一部区域を除く信州大学の主要キャンパス全てにおいて「ISO14001」の認証取得を達成しました。2008年には環境マインド推進センターを設置し、エコキャンパスの発展と自主的な環境保全活動を推進しています。



*...松本キャンパスにある大学管理を行う部署

環境マインドをもつ人材の養成ホームページ
<http://www.shinshu-u.ac.jp/ecomind/>

教育プログラム

信州大学は、各学部・研究科・全学教育機構において地域などの特色をいかした個性ある様々な教育プログラムを展開しており、文部科学省において全国の国公立大学が

取組む教育改革の中から優れた取組みとして、以下のプログラム等が採択されています。

採択プログラム			
現代的教育ニーズ取組支援プログラム	(H18~H20)	1件	22,000千円
地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム	(H18~H20)	1件	22,500千円
大学教育の国際化推進プログラム	(H18~H22)	4件	14,220千円
社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム	(H19~H22)	2件	30,000千円
大学院教育改革支援プログラム	(H19~H21)	2件	48,510千円
専門職大学院等教育推進プログラム	(H19~H20)	1件	17,488千円
新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム	(H19~H22)	1件	20,000千円 外

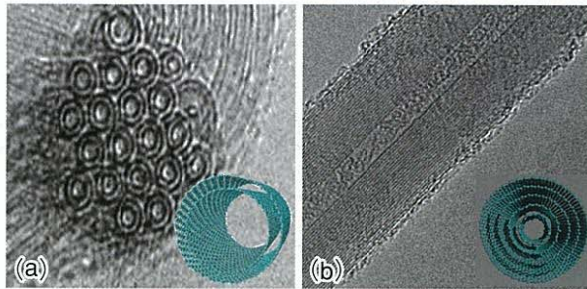
※金額は平成20年度採択額(20年9月現在)

研究 向かい合うのは、世界基準

ナノテクノロジーに関連した研究領域

－工学部・繊維学部－

ナノテクノロジーに関連した研究として、多層カーボンナノチューブ（遠藤チューブとも称されます）は機械的、電子的、



●鉄触媒で成長した2層カーボンナノチューブ(a)と遠藤チューブとも称される多層カーボンナノチューブ(b)

熱伝導特性に優れ、それを利用したイノベーティブな機能を有する各種デバイス、複合モジュールを開発しています。



※遠藤チューブ

・本学の遠藤守信工学部教授が開発した多層カーボンナノチューブ。
・数nmの超微細な鉄等の金属粒子で成長し、直径も約100nm以下の範囲で調節できる。VGCFとして1988年から市販され、リチウムイオン電池を中心に実用されており、鉛電池等や新複合材料にも応用が広がっている。

先進ファイバー工学の研究領域

－大学院総合工学系研究科 博士課程－

ナノファイバーから実用繊維までの全ての細くて長い形態の材料を対象として、エネルギー、健康、環境、宇宙など広範な分野の基礎をなす新素材の創成、人に優しい技術の創

■グローバルCOEプログラム「国際ファイバー工学教育研究拠点」

平成19年度～平成23年度 平成20年度採択額 167,310千円

(大学からの申請で採択された科学技術振興調整費)

■若手研究者の自立的な研究環境促進

「ファイバーナノテク国際若手研究者育成拠点」

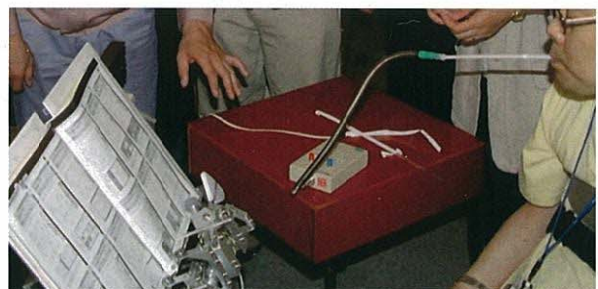
平成19年度～平成23年度 平成20年度採択額 236,603千円

■先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

「ナノテク高機能ファイバー連携・融合拠点」

平成19年度～平成23年度 平成20年度採択額 299,967千円

出、感性を数値化して繊維用品の効果的な生産に結びつける感性システムの構築など、実用化研究を推進しています。



●手の不自由な方が生き生きと生活ができる技術（ページめくり機）

加齢適応医科学の研究領域

－大学院医学系研究科 博士課程 独立専攻－

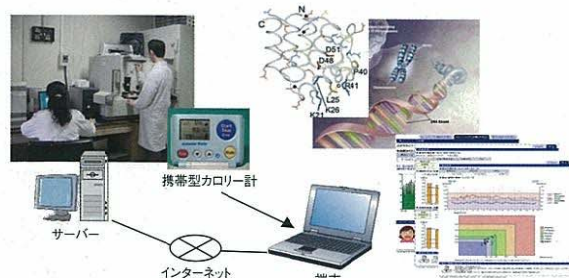
加齢の仕組み、発癌や転移の仕組みと制御、代謝制御の仕組み、スポーツと健康促進などを主テーマとして研究を行っています。研究成果は市民講座などで社会へ還元すると

ともに、中高年の健康スポーツ教室である「熟年体育大学」事業、医学部附属病院予防医療センターと連携し、運動療法を核とした新しい予防医学の体系化を目指し、プロジェクト研究が精力的に行われています。

JTRC 熟年体育大学リサーチセンター



●「熟年体育大学」事業のウォーキング指導



●「遠隔型個別運動処方システム」によって中高年の運動処方効果の個別差について、遺伝子からの解析が可能となりました。

地域貢献 暮らしに社会に新たな価値を

産学官連携への取り組み

本学では、長野県内各地域や東京都、新潟県へ産学官連携の拠点を展開して、産学官連携を積極的に推進しています。

- 全県に亘る事業
- 知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)
「ナノテクノロジー・材料によるスマートデバイスの創成」
- 信州産学官連携機構(SIS)



地域医療への取り組み

医学部附属病院は、28診療科、26診療部、700の病床を備えた総合病院です。地域医療への貢献を目的とし、社会のニーズに対応できる医師・看護師等の人材育成を行うとともに、「高度救命救急センター」など、地域拠点病院としての機能の拡充を図っています。また、生体肝移植を行う「移植医療センター」、軟骨や血管の再生医療、生活習慣病等の予防医療を実践する「先端医療推進センター」、全国の

国立大学病院に先駆け児童・思春期におけるこころの問題を診断・治療するため開設した「子どものこころ診療部」など施設の充実を図り、より高度で先進的な医療に取り組んでいます。

附属病院の再開発整備事業も最後となる外来診療棟新営工事が始まり、2009年3月に完成する予定です。



● 医学部附属病院外来診療棟外観パース図



● 高度救命救急センター

信州大学の概要

学生・教職員数(平成20年5月1日現在) (単位:人)

学生等数		役員等・教職員	
学部学生	9,341	役員等	9
大学院		教員	1,140
修士	1,652	職員	1,184
博士	477	計	2,333
専門職	98		
児童生徒			
幼稚園	117		
小学校	1,053		
中学校	1,153		
特別支援	55		
留学生	335		
計	14,281		

運営費交付金の推移について (単位:百万円)



※平成20年度は附属病院新外来棟新設に係る設備費6億28百万円が予算措置されたことなどから増額となっている。

平成19年度財務状況について

貸借対照表 (単位:百万円)

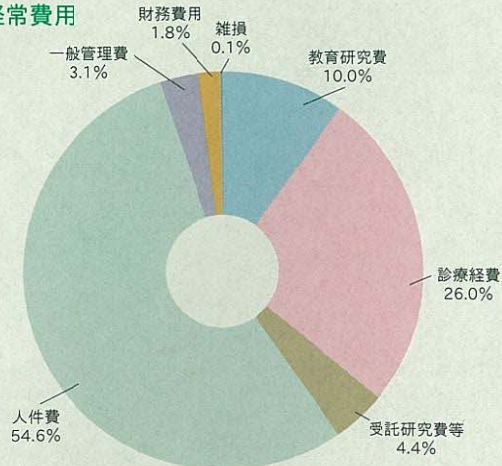
資産の部		負債の部	
固定資産	102,375	固定負債	49,678
有形固定資産	89,048	借入金	26,105
土地	33,760	その他	10,252
建物等	41,757	流動負債	13,320
機械・工具器具等	4,681	運営費交付金債務	1,191
その他	8,364	1年以内返済予定借入金	2,672
無形固定資産	80	未払金	6,735
投資その他資産	401	その他	2,719
流動資産	13,327	純資産の部	52,697
現金及び預金	6,993	資本金	47,045
未収入金	2,879	資本剰余金	639
その他	3,453	利益剰余金	5,011

損益計算書 (単位:百万円)

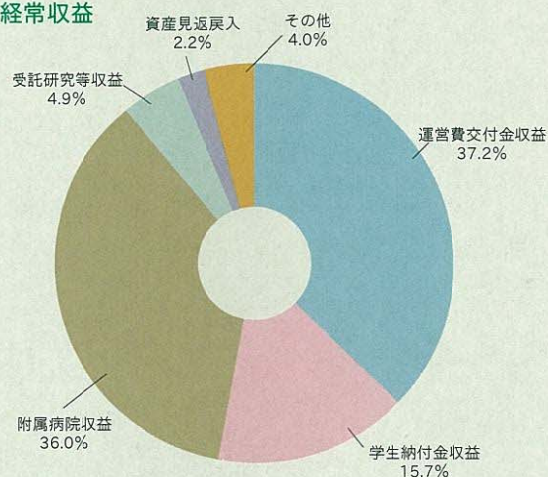
経常費用		経常収益	
教育研究経費	4,245	運営費交付金収益	16,023
診療経費	10,948	学生納付金収益	6,782
受託研究費等	1,848	附属病院収益	15,525
人件費	22,965	受託研究等収益	2,098
一般管理費	1,305	資産見返戻入	943
財務費用	764	その他	1,720
雑損	11	計	43,095
計	42,089		
臨時損失	31	臨時利益	1
当期総利益	1,121	目的積立金取崩額	145

経常費用・経常収益の構成内訳

経常費用



経常収益





国立大学法人
信州大学

SHINSHU UNIVERSITY

このシンボルマークは、信州大学の頭文字「S」と信州の天空を雄々しく舞う鳥をモチーフとしています。3枚の羽は「教育」、「研究」、「社会貢献」を象徴し、それらが一体となった躍動感ある大きな翼は世界(国際社会)へと飛翔していくイメージを表します。また、配色の明緑から濃緑へと変化する3色の緑には生命力溢れる信州の自然を反映させ、学生の成長と大学の発展への願いが込められています。

オンリーワンの魅力あふれる地域拠点大学をめざして

発行・編集

国立大学法人 信州大学財務部

〒390-8621 松本市旭三丁目1番1号

財務諸表等に関する詳細は、こちらをご覧ください。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/plan/statements.html>

問合せ先

財務部財務課予算決算グループ

TEL:0263-37-2127

FaX:0263-34-4003

E-mail:zaimu-yosan@shinshu-u.ac.jp

平成20年10月発行



豆油配合率100%の再生紙を使用